

平成28年度予算見積調書

課室名：生涯学習文化財課
 担当名：指定文化財保護担当
 内線：6987

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B103	文化遺産活用調査事業			一般会計	教育費	社会教育費	文化財保護費	文化財調査費		
事業期間	平成28年度～	根拠法令	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例			戦略項目				
						分野施策	050101 文化芸術の振興			
<p>1 事業の概要</p> <p>埼玉の歴史文化を再発見し、埼玉の魅力を世界に発信するため、潜在的な歴史文化遺産を新たに掘り起すための学術調査を実施する。</p> <p>(1) 無形民俗文化財調査研究費 1,653千円 (2) 自然遺産調査研究費 1,109千円 (3) 歴史遺産調査研究費 200千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 無形民俗文化財調査研究費 県内の無形民俗文化財についての総合的な調査を実施する 1,653千円 イ 自然遺産調査研究費 県内の自然系の文化財についての総合的な調査を実施する 1,109千円 ウ 歴史遺産調査研究費 県内の歴史系の文化財についての総合的な調査を実施する 200千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 無形民俗文化財のうち「巡り・廻りの民俗行事」についての調査を行い、保護・普及・活用のデータとする。 イ 自然系文化遺産のうち「石灰岩地自然遺産」について調査を行い、保護・普及・活用のデータとする。 ウ 歴史系文化遺産のうち「新編武蔵風土記稿」に係る文化財の調査を行い、保護・普及・活用のデータとする。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>新たな文化遺産が掘り起こされ、埼玉の歴史文化の再発見が進むことで、県民のアイデンティティを醸成することができるのと同時に、世界的なスポーツ大会等を機に、埼玉の魅力を世界に発信することができる。</p>						
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>				<p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況</p> <p>ア 県立博物館施設の学芸員が主体となり、専門的な知見から総合的な学術調査を実施する。 イ 石灰岩地自然遺産の調査において、動物骨の分析や洞穴の調査など、特殊な技能が必要なものについては、民間団体と共同で調査を実施する。</p>						
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>普通交付税(その他教育費) (区分) その他教育費 (細目) 社会教育費 (細目)) 社会教育・文化財保護費 (積算内容) 文化財保護関係補助金等文化財の維持管理経費、旅費、備品購入費</p>										
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.2人=1,900千円</p>										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との対比
決定額	2,962							2,962	2,962	
前年額										